

ポートレーズ鳴門 ダイナミックキャビン

2階個室等設置工事のうち電気工事

図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
	《電気》		E-10	改修後 2階電灯設備図	1/100			
E-01	電気設備工事特記仕様書	-	E-11	改修前 2階コンセント設備図	1/100			
E-02	全体配置図・付近見取図	1/2000, 50000	E-12	改修後 2階コンセント設備図	1/100			
E-03	改修前 1階幹線・動力設備図	1/100	E-13	改修前 2階弱電設備図	1/100			
E-04	改修後 1階幹線・動力設備図	1/100	E-14	改修後 2階弱電設備図	1/100			
E-05	改修前 2階幹線・動力設備図	1/100	E-15	改修前 2階放送設備図	1/100			
E-06	改修後 2階幹線・動力設備図	1/100	E-16	改修後 2階放送設備図	1/100			
E-07	改修前 1階電灯設備図	1/100	E-17	改修前 2階自動火災報知設備図	1/100			
E-08	改修後 1階電灯設備図	1/100	E-18	改修後 2階自動火災報知設備図	1/100			
E-09	改修前 2階電灯設備図	1/100						

電気設備工事特記仕様書

Table with project details: 工事名称 (ボートレース鳴門 ダイナミックキャビン2階個室等設置工事のうち電気工事), 工事場所 (鳴門市撫勢町大森島), 基礎面積 (80.6 0.4㎡), 工事種目 (1. 幹線・動力設備, 2. 電灯設備, 3. コンセント設備, 4. 弱電設備, 5. 放送設備, 6. 自動火災検知設備, 7. 撤去工事)

Table with equipment specifications: 設備概要 (受電設備, 発電設備, 電力貯蔵設備, 幹線設備, 通信・情報設備, 自動火災検知設備, 雷保護設備, 監視監視制御設備)

- 1. 本工事は契約書、特記仕様書、並びに国土交通省大臣官庁審判部情報修「公共建築工事標準仕様書（最新版）」、「公共建築設備工事標準図」（最新版）並びに、建築基準法・消防法等の関係法令の規定に準拠するほか、監督員の指示に従い完全に施工する。
2. 本工事に必要な諸官庁への申請手続きは請負者が遅滞なく行い、経費は本工事に含むものとする。
3. 設計図書に記載をなした場合は機能・外観・法規上・当然施工すべき事項については監督員と協議し、その指示に従い施工する。
4. 本工事施工前に施工図を監督員に提出し、承認後施工する。
5. 本工事に必要な工事用電力、水及び養生などの費用は、すべて請負者の負担とする。

- 特記仕様書
1. 特記事項
1. 最上層の天井配管は、原則二重天井内のいんべい施工とし、屋上スラブへの埋め込みは行わない。(最上層が二重天井の場合に限る。)
2. 長さ1m以上の入線しなない電線管には1.2m以上のビニル被覆鉄線管を挿入する。
3. フラッシュプレートの材質は新金属製とする。
4. カープレート及びプルボックス蓋にはシール等で裏面別表示を行う。なお、屋外部分の表示はエンッチング文字とする。
5. 壁内、幹線プルボックス内、ケーブルラック上の要所、マンホール・ハンドホール内、その他の要所には合成樹脂製、ファイバ製の表示札等を取付け、回路の種類、行先等を表示する。
6. 屋外の金属製防水形プルボックスは積付塗装とする。
7. スリーブ材料は、原則として水密を要する箇所はつば付き銅管、地中部分で水密を要しない箇所は硬質塩化ビニル管、それ以外は亜鉛めっき鋼板とする。
8. 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線で、配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督員との協議により図面表示と多少相違させてよい。
9. 分電盤からの予備回路等として、分電盤の予備回路数(スペースを含む)に応じた配管を天井裏まで立上げる。
10. E/D接地線の材料はEとL10、L=1,500とする。接地線の埋設位置には、屋外灯のポール等で埋設位置が明確な場合を除いて接地線埋設設備を設ける。
11. 行先は表示一冊書、タイプ25とする。
12. 屋外及びビッド内の支持金物等はステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛メッキ製とする。
13. あと施工アンカーボルトの選定については、次による。
(1) 機器盤の固定には、金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し、施工後確認試験を(○)行う、行わない。
(2) 配管の吊り及び支持材の固定には、その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお、耐震支持に使用するアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。
(3) 屋外に使用するものはステンレス製(SUS304)とする。
14. 次の部分の露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。
(○)一般居室、廊下等 (●)屋外
※鉛めっき金属電線管はエンッチングプライマー1種(JIS-K-5633)による化学処理を行った後黒色ペイント2回塗りとする。
15. 屋内、屋外及びビッド内の支持金物等のうち、ステンレス製(SUS304)又は溶融亜鉛メッキ製のものは、原則塗装を行わない。
16. 地中管路の埋設深さは0.6m以上とし、高圧地中配線以外も埋設確認シートにより埋設確認を行う。
17. 撤去作業に際して、事前に当該作業範囲内の埋設物、特に電力、通信、ガス及び水道等の埋設経路の調査を行う。
18. 変更又は増設工事等において既設配線との接続が本工事に含まれる場合は、工事着手前及び工事完了後に既設配線の抵抗値を測定する。
19. 分電盤等において、外部から分電回路の接地線を接続する端子又は銅帯は、分電回路の配線用遮断器等又はニュートラルスイッチの両側の近くに設ける。
なお、車線接地線の接続にはセルフアッパルヒ等電線じか接続可能な端子とすることが望ましい。
20. 太さ14mm以上の電線をターミナルブロックにより機器に接続する場合は、増設確認の表示を行う。
21. ケーブルを集合して束ねる場合は、許容電流について必要な修正を行い、記録の大きさは影響を与えない範囲で定める。
22. 機材の検査に伴う試験のうち、製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提供する。
23. 通信・情報設備の弱電流電線は絶縁抵抗測定を行う。(備考(4)2.28.2)

Table with grounding specifications: 23. 自家用電気工作物の保安規程に基づき、電気主任技術者による工事中の点検並びに工事完成時の検査を実施し、成績書を提供する。
24. 明記外プルボックスは、銅製とする。
25. 接地線の材料は次による。
Table with columns: 接地の種類, 記号, 接地抵抗値, 接地線

Table with equipment specifications: 26. 機器取付高
Table with columns: 名称, 測定点, 取付高(mm)
Table with columns: 名称, 測定点, 取付高(mm)

Table with equipment specifications: 27. 区画異種処理(防火区画の貫通)については令第112条第15項、16項及び、令第129条の2の5第1項第7号の略号又は大臣認定品を使用する。
Table with columns: シンボル, 名称, 備考, シンボル, 名称, 備考

Table with equipment specifications: Table with columns: シンボル, 名称, 備考, シンボル, 名称, 備考

Table with equipment specifications: 3. 機材等指定
Table with columns: 機材名, 製造者名





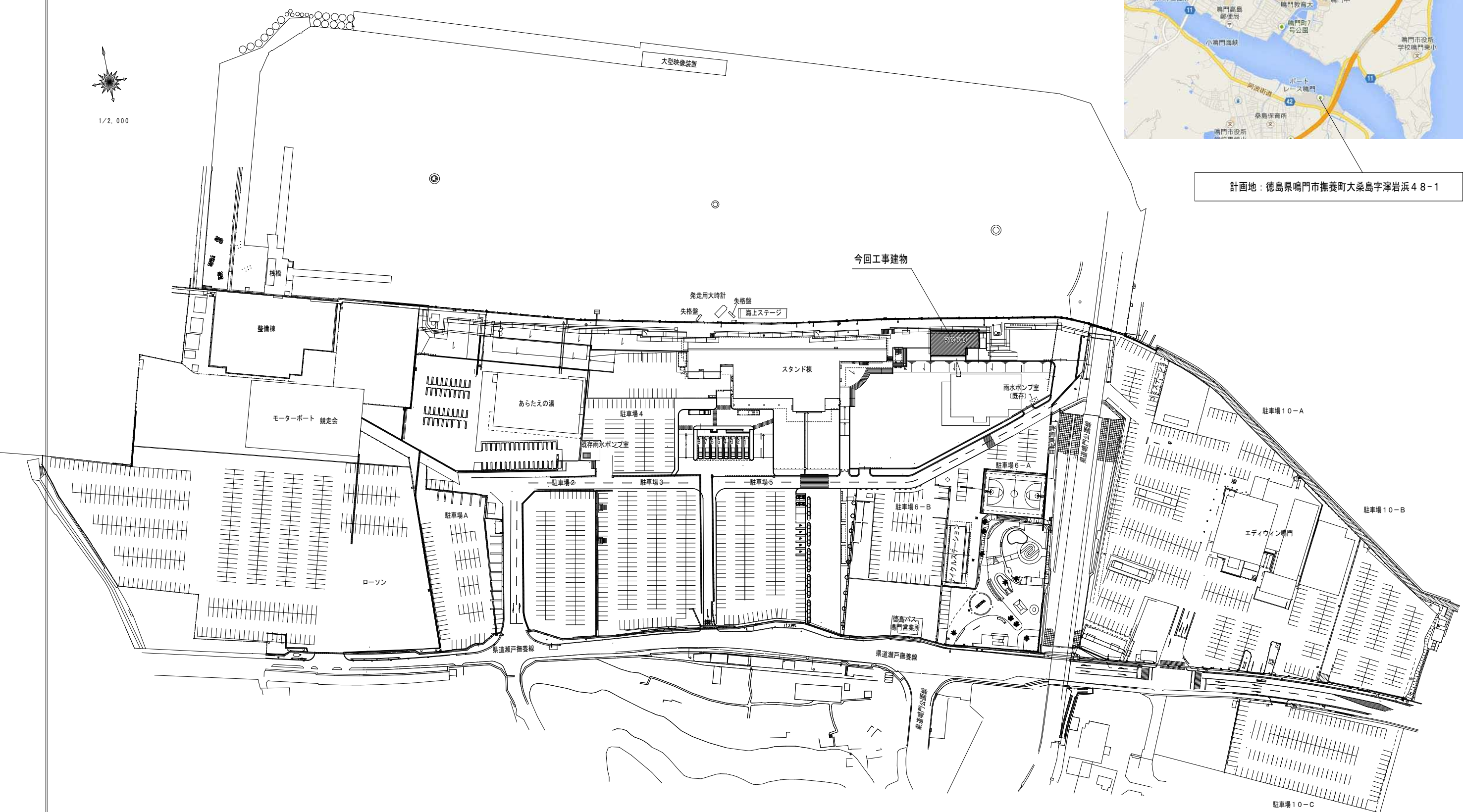
1/2,000



1/50,000



計画地：徳島県鳴門市撫養町大桑島字浄岩浜48-1



鳴門市企業局 ポートレース事業課



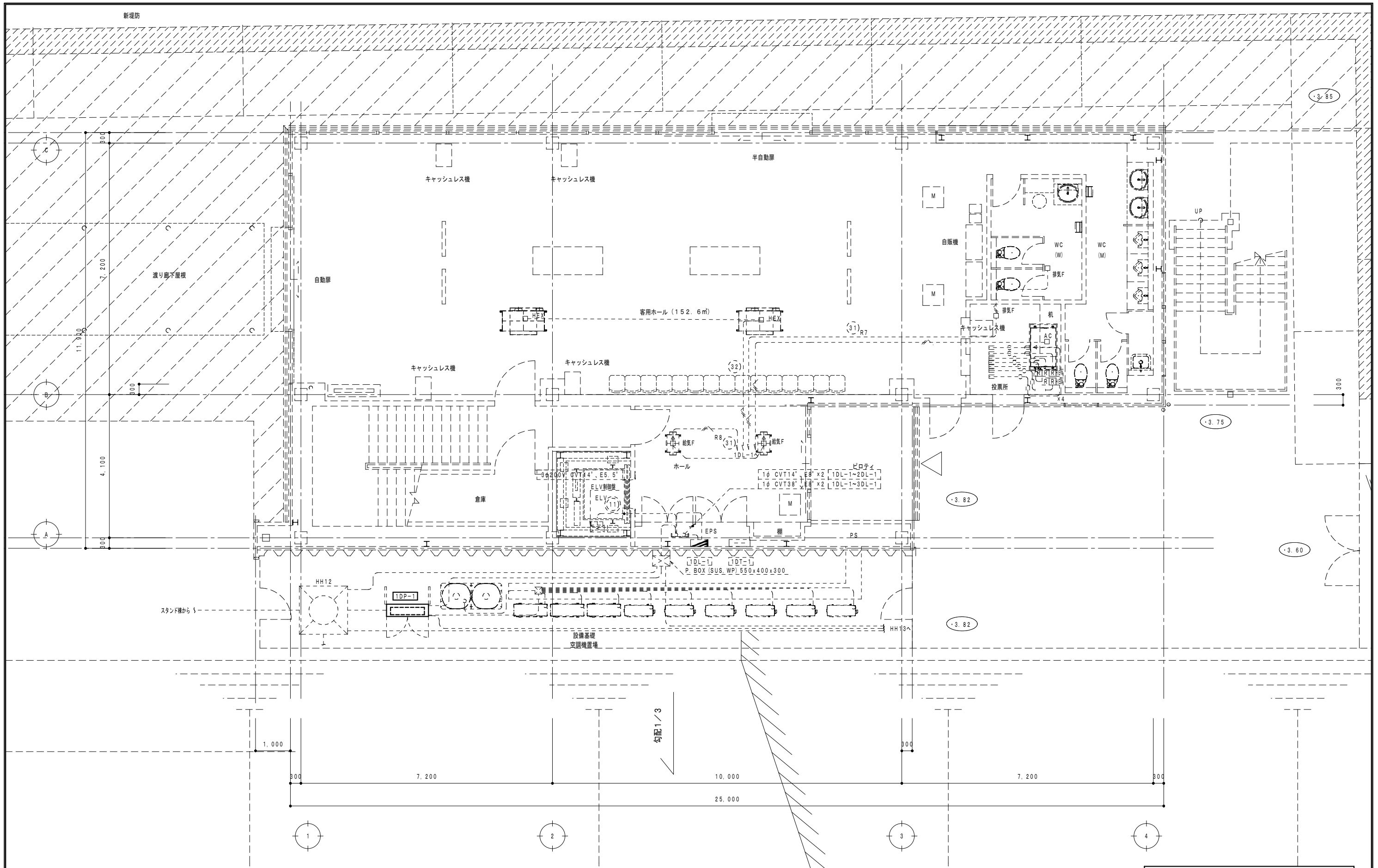
工事名称: ポートレース鳴門 ダイナミックキャビン 2階個室等設置工事のうち電気工事 徳島県建築士事務所協会々員

図名: 全体配置図・付近見取図 縮尺: 1/2000, 50000 年月:

株式会社 宮建築設計 1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号 徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代)


管理建築士 No. 1333707 清水 康代

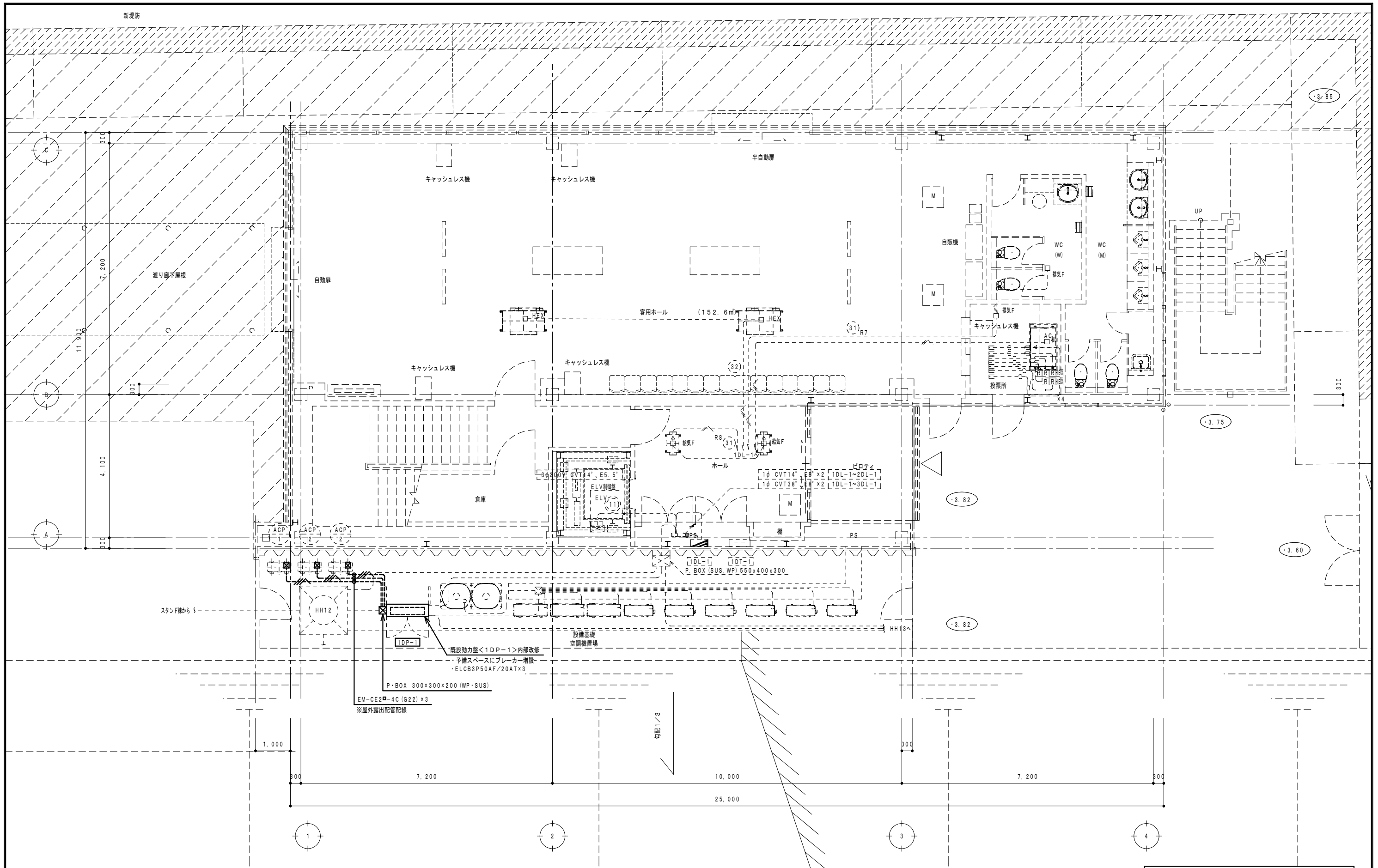
係 図番 No. E-02



改修前 1階幹線・動力設備図 1/100

◎特記
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・(取)印は既設取外し後再利用を示す。

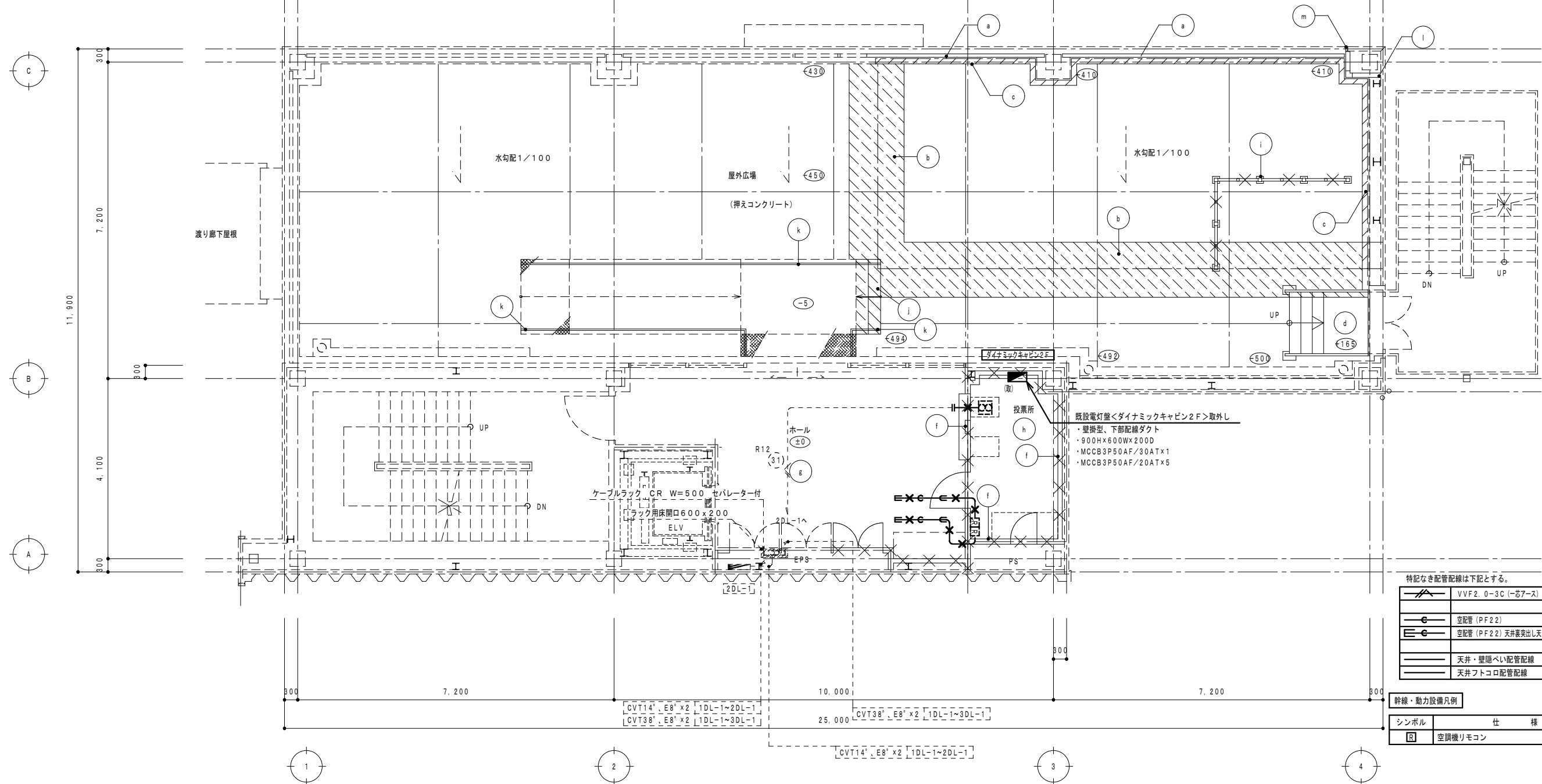
鳴門市企業局 ポートレース事業課	 MIYA	工事名称 ボートレース鳴門 ダイナミックキャビン 2階個室等設置工事のうち電気工事 徳島県建築士事務所協会々員	図名	改修前 1階幹線・動力設備図		株式会社 宮建築設計 1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号 徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代)	管理建築士 1級333707 清水 康代	係	図番 No. E-03
			縮尺	1/100	年月				



改修後 1階幹線・動力設備図 1/100

◎特記
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・(再)印は既設器具再取付及び移設再取付を示す。

鳴門市企業局 ポートレース事業課	MIYA	工 事 名 称 ボートレース鳴門 ダイナミックキャビン 2階個室等設置工事のうち電気工事 徳島県建築士事務所協会々員	図 名 改修後 1階幹線・動力設備図		株 式 会 社 宮 建 築 設 計 1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号 徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代)	管 理 建 築 士 1級333707 清水 康代	係	図 番 No. E-04
			縮 尺 1/100	年 月				



特記なき配管配線は下記とする。

	VVF2.0-3C (-芯7-ス) (PF22)
	空配管 (PF22)
	空配管 (PF22) 天井裏突出し天井接続口まで
	天井・壁隠ぺい配管配線
	天井フトリ配管配線

幹線・動力設備凡例

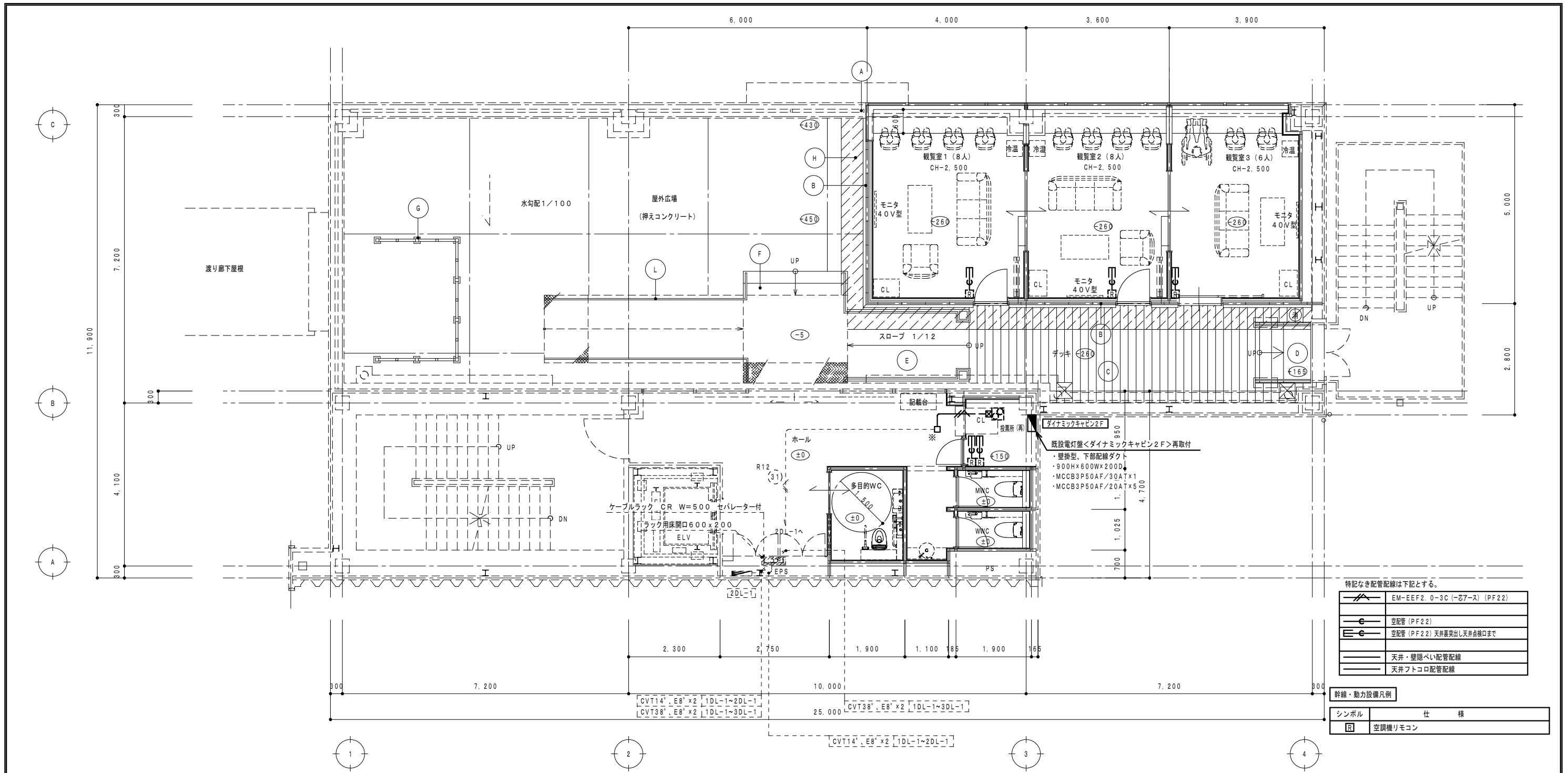
シンボル	仕様
	空調機リモコン

◎特記
 ・×印は既設撤去を示す。
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・(取)印は既設取外し後再利用を示す。

改修前 2階幹線・動力設備図 1/100

撤去凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(a)	アルミ手摺撤去	(e)	アルミ水切り撤去 (改修前立面図参照)	(i)	アルミスクリーン取り外し H=2100	(m)	アルミ見切り撤去
(b)	防水押えコンクリート t=80撤去 ワイヤーメッシュ共	(f)	LGS間仕切り壁撤去	(j)	RC階段撤去		
(c)	立上りコンクリートあご撤去	(g)	KT t2.0撤去	(k)	鉄骨手摺撤去	○	各階基準FLよりの床レベルを示す 特記なきものはFL±0
(d)	鉄骨階段撤去	(h)	帯電防止塩ビタイル撤去 OAフロア共H=150	(l)	押出成形セメント板 t=60の上DP塗撤去	□	撤去建具記号を示す。



改修後 2階幹線・動力設備図 1/100

※内部改修内容は詳細図による。
 ※(消)は消火器BOX+粉末消火器10型を記す

特記なき配管配線は下記とする。

	EM-EEF2.0-3C (-57-ス) (PF22)
	空配管 (PF22)
	空配管 (PF22) 天井裏突出し天井透検口まで
	天井・壁間へい配管配線
	天井フトリコ配管配線

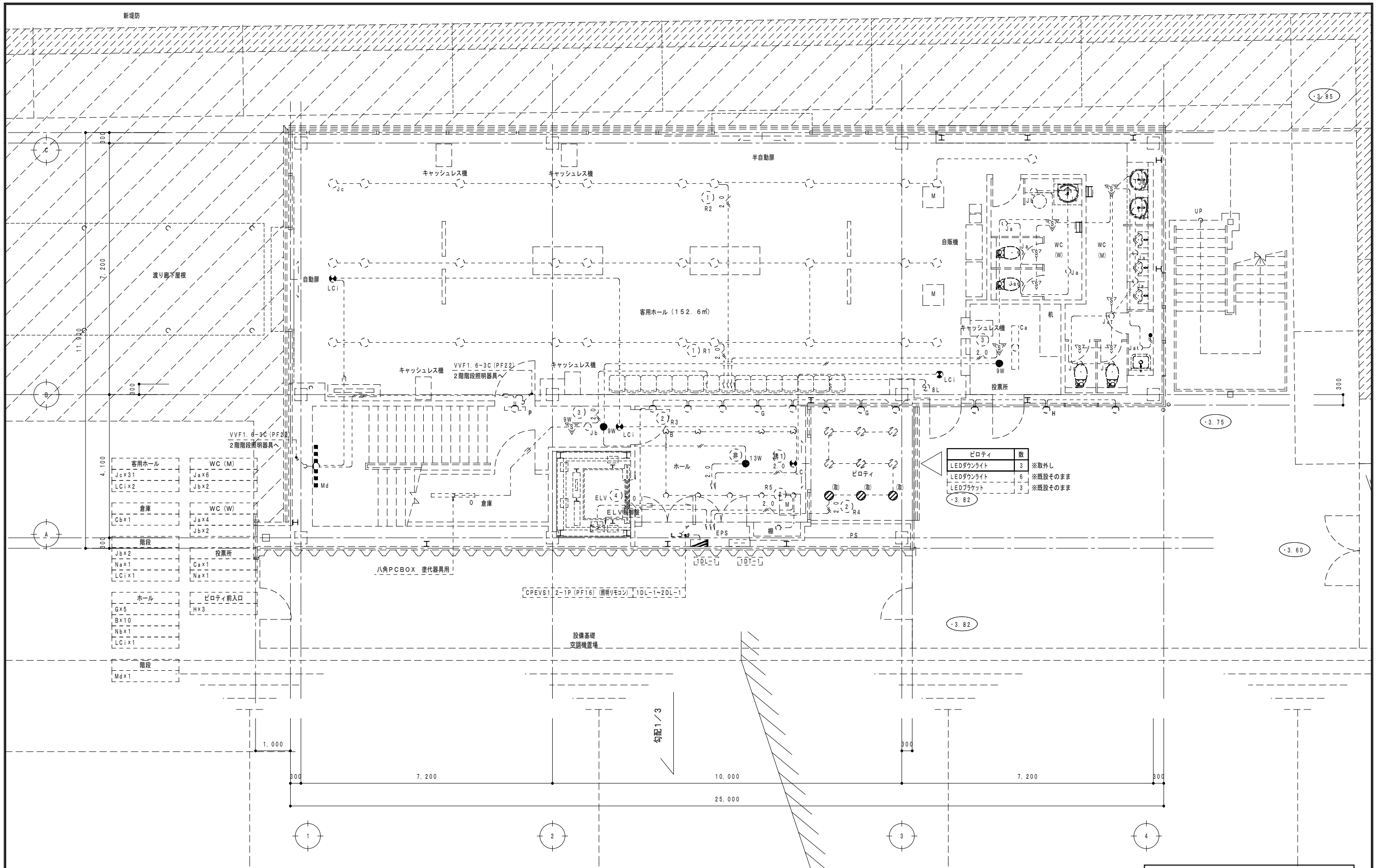
幹線・動力設備凡例

シンボル	仕様
	空調機リモコン

◎特記
 ・※印は既設接続調整を示す。
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・(再)印は既設器具再取付及び移設再取付を示す。

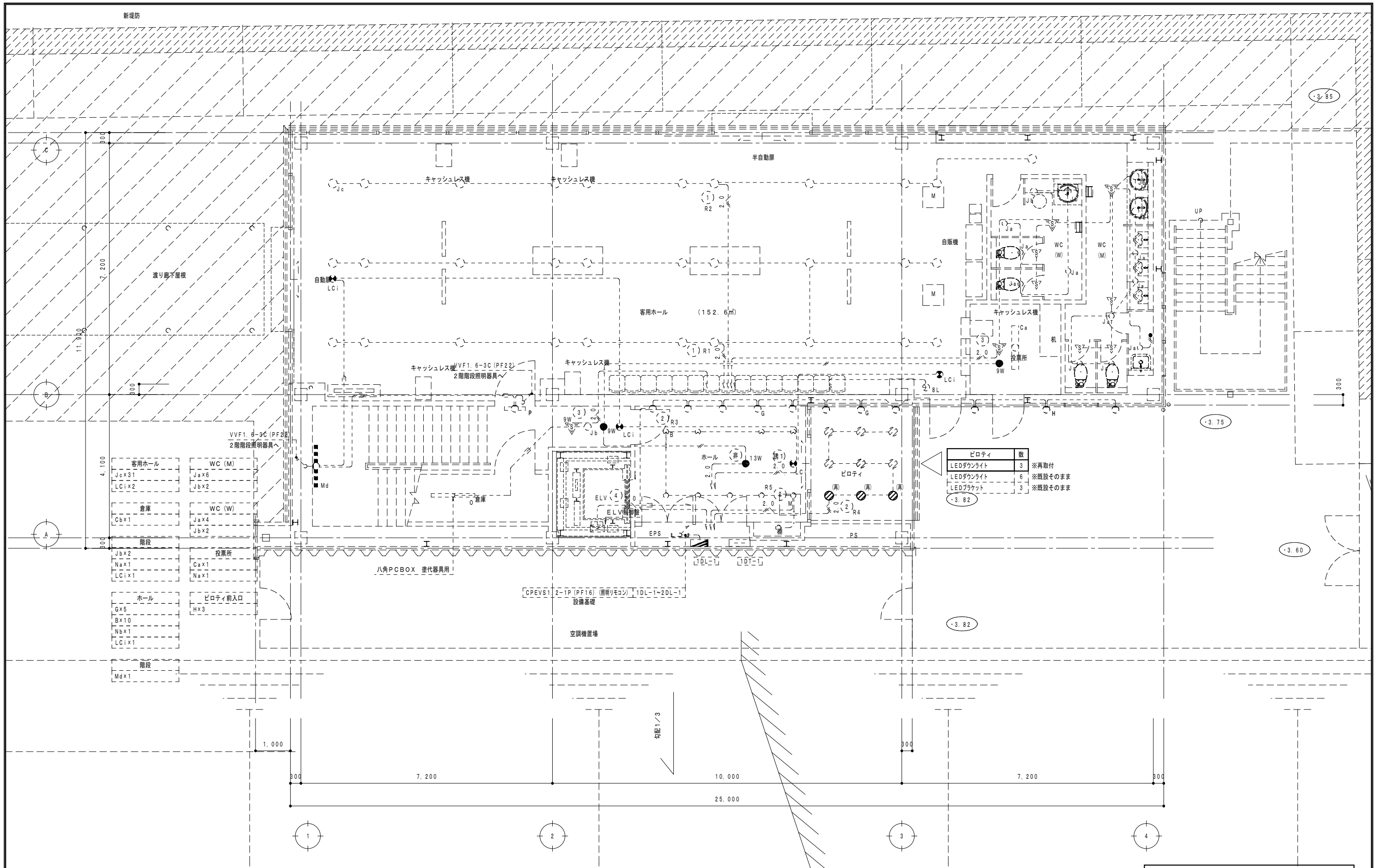
改修凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(A)	既存アルミ手摺端部塞ぎ	(E)	鉄骨スロープ新設	(I)	アルミ水切り新設 (改修後北立面図参照)		
(B)	押出成形セメント板 t60の上DP塗 外壁断熱: 吹付硬質ウレタンフォーム t20	(F)	鉄骨階段新設 (中央)	(J)	サイン新設 (配置については、平面詳細図参照)		
(C)	人工木デッキ新設	(G)	アルミスクリーン再取付+新設 H=2100	(L)	ステンレス手摺新設		
(D)	鉄骨階段新設 (東側)	(H)	アスファルト防水新設 (立上り共) 押エコンクリート t=80ワイヤーメッシュ新設			(○)	新設建具記号を示す。



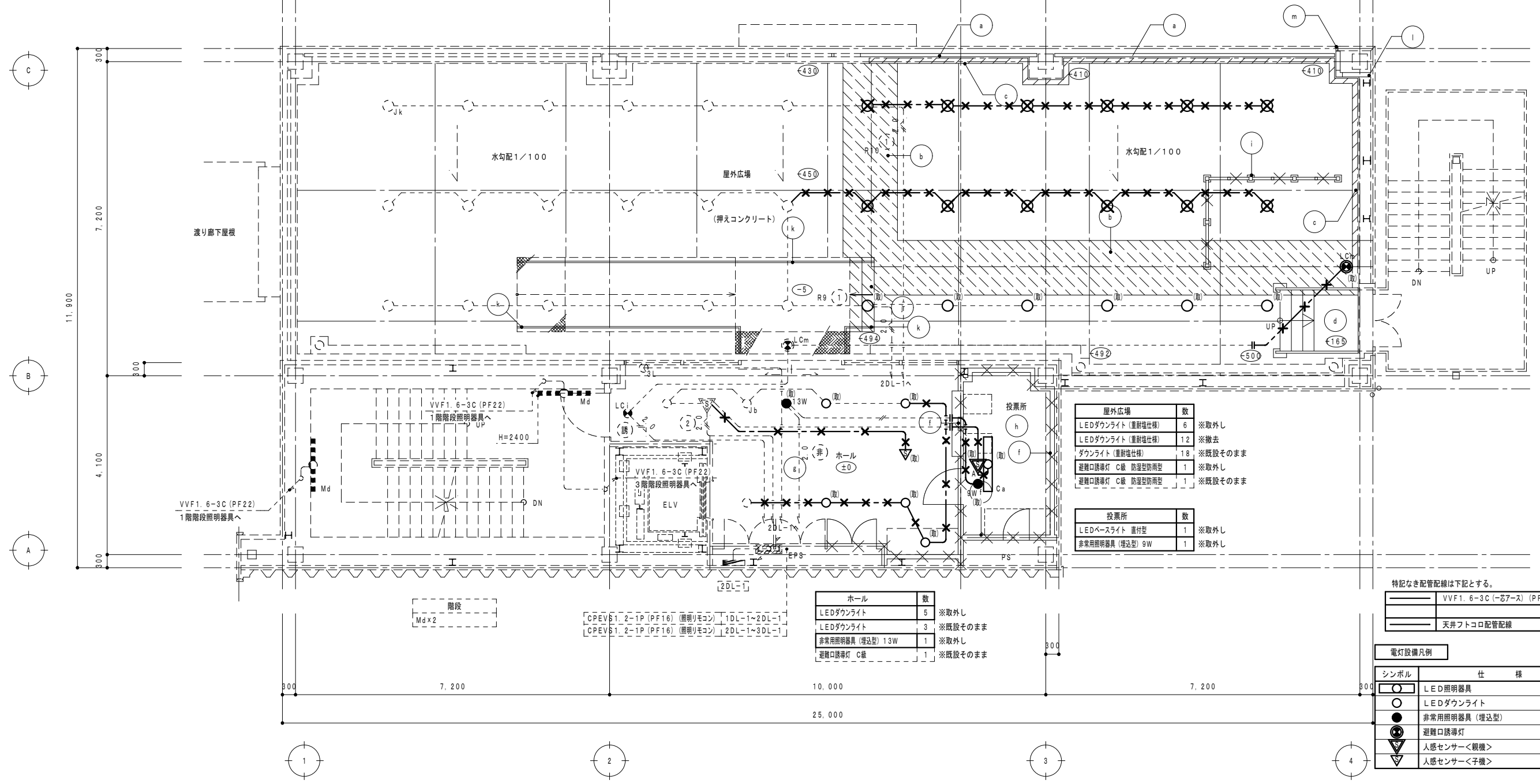
改修前 1階電灯設備図 1/100

◎特記
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・(取)印は既設取外し後再使用を示す。



改修後 1階電灯設備図 1/100

◎特記
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・(再)印は既設器具再取付及び移設再取付を示す。



屋外広場		数	
LEDダウンライト (重耐塩仕様)	6	※取外し	
LEDダウンライト (重耐塩仕様)	12	※撤去	
ダウンライト (重耐塩仕様)	18	※既設そのまま	
避難口誘導灯 C級 防湿型防雨型	1	※取外し	
避難口誘導灯 C級 防湿型防雨型	1	※既設そのまま	

投票所		数	
LEDベースライト 直付型	1	※取外し	
非常用照明器具 (埋込型) SW	1	※取外し	

ホール		数	
LEDダウンライト	5	※取外し	
LEDダウンライト	3	※既設そのまま	
非常用照明器具 (埋込型) 13W	1	※取外し	
避難口誘導灯 C級	1	※既設そのまま	

特記なき配管配線は下記とする。

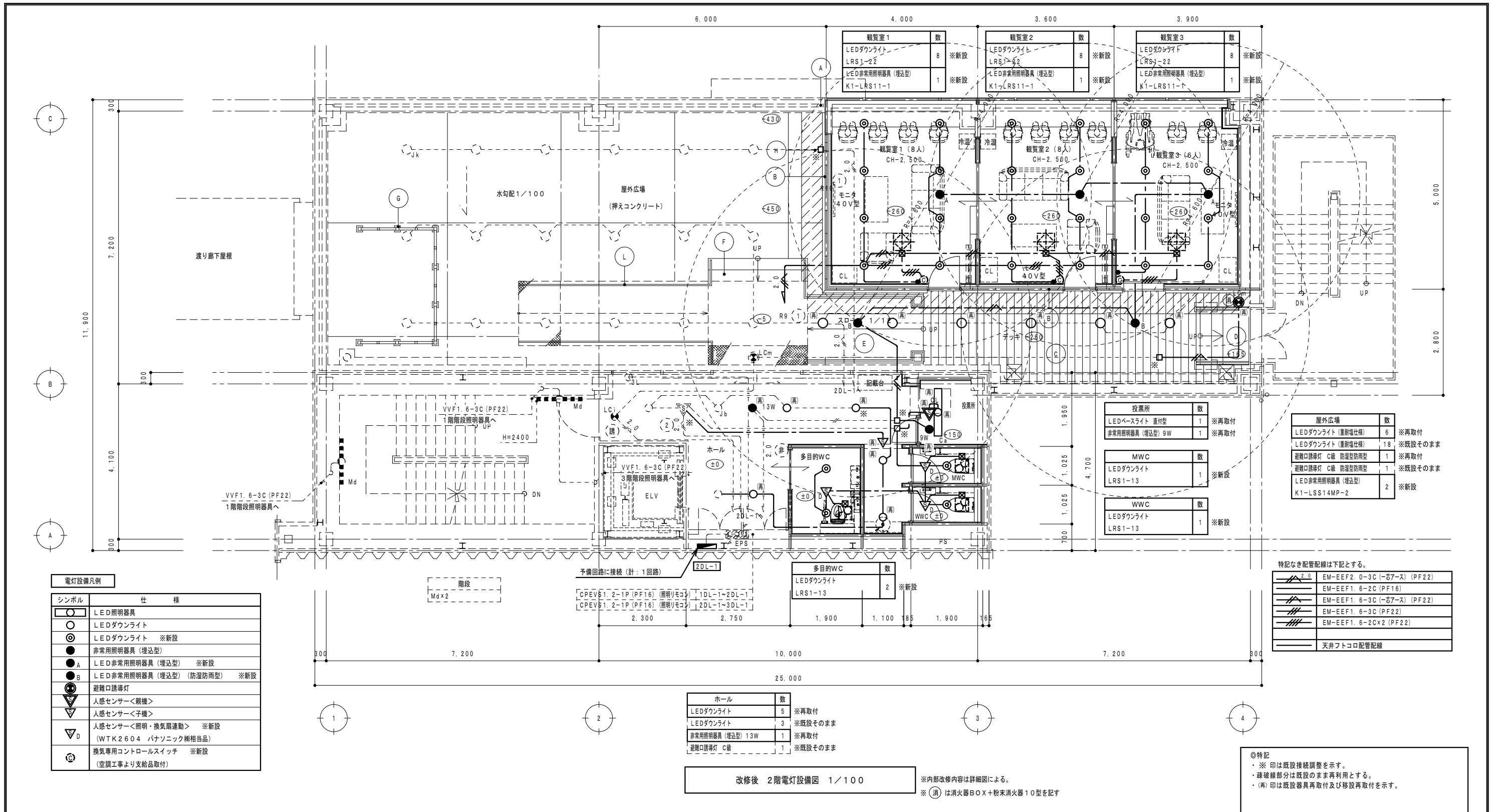
—	VVF1.6-3C (-芯7-ス) (PF22)
—	天井フクロコ配管配線

電灯設備凡例	
シンボル	仕様
○	LED照明器具
●	LEDダウンライト
●	非常用照明器具 (埋込型)
●	避難口誘導灯
△	人感センサー<親機>
▽	人感センサー<子機>

改修前 2階電灯設備図 1/100

撤去凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(a)	アルミ手摺撤去	(e)	アルミ水切り撤去 (改修前立面図参照)	(i)	アルミスクリーン取り外し H=2100	(m)	アルミ見切り撤去
(b)	防水押えコンクリート t=80撤去 ワイヤーメッシュ共	(f)	LGS間仕切り壁撤去	(j)	RC階段撤去		
(c)	立上りコンクリートあご撤去	(g)	KT t=2.0撤去	(k)	鉄骨手摺撤去	○	各階基準FLよりの床レベルを示す 特記なきものはFL±0
(d)	鉄骨階段撤去	(h)	帯電防止塩ビタイル撤去 OAフロア共H=150	(l)	押出成形セメント板 t=60の上DP塗撤去	□	撤去建具記号を示す。



シンボル	仕様
○	LED照明器具
○	LEDダウンライト
◎	LEDダウンライト ※新設
●	非常用照明器具 (埋込型)
●	LED非常用照明器具 (埋込型) ※新設
●	LED非常用照明器具 (埋込型) (防湿防雨型) ※新設
⊙	避難口誘導灯
▽	人感センサー<観機>
▽	人感センサー<子機>
▽	人感センサー<照明・換気扇連動> ※新設 (WTK2604 パナソニック機相当品)
⊕	換気専用コントロールスイッチ ※新設 (空調工事より支給品取付)

EM-EEF2.0-3C (-芯7-ス) (PF22)
EM-EEF1.6-2C (PF16)
EM-EEF1.6-3C (-芯7-ス) (PF22)
EM-EEF1.6-3C (PF22)
EM-EEF1.6-2Cx2 (PF22)
天井フトロコ配管配線

種類	数
LEDダウンライト	2 ※新設
LRS1-13	2 ※新設

改修後 2階電灯設備図 1/100 ※内部改修内容は詳細図による。
※ (消) は消火器BOX+粉末消火器10型を記す

改修凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(A)	既存アルミ手摺端部塞ぎ	(E)	鉄骨スロープ新設	(I)	アルミ水切り新設 (改修後北立面図参照)		
(B)	押出成形セメント板 t60の上DP塗 外壁断熱: 吹付硬質ウレタンフォーム t20	(F)	鉄骨階段新設 (中央)	(J)	サイン新設 (配置については、平面詳細図参照)		
(C)	人工木デッキ新設	(G)	アルミスクリーンリ再取付+新設 H=2100	(L)	ステンレス手摺新設		
(D)	鉄骨階段新設 (東側)	(H)	アスファルト防水新設 (立上り共) 押エコンクリート t=80ワイヤーメッシュ新設			(○)	新設建具記号を示す。

鳴門市企業局 ポートレース事業課



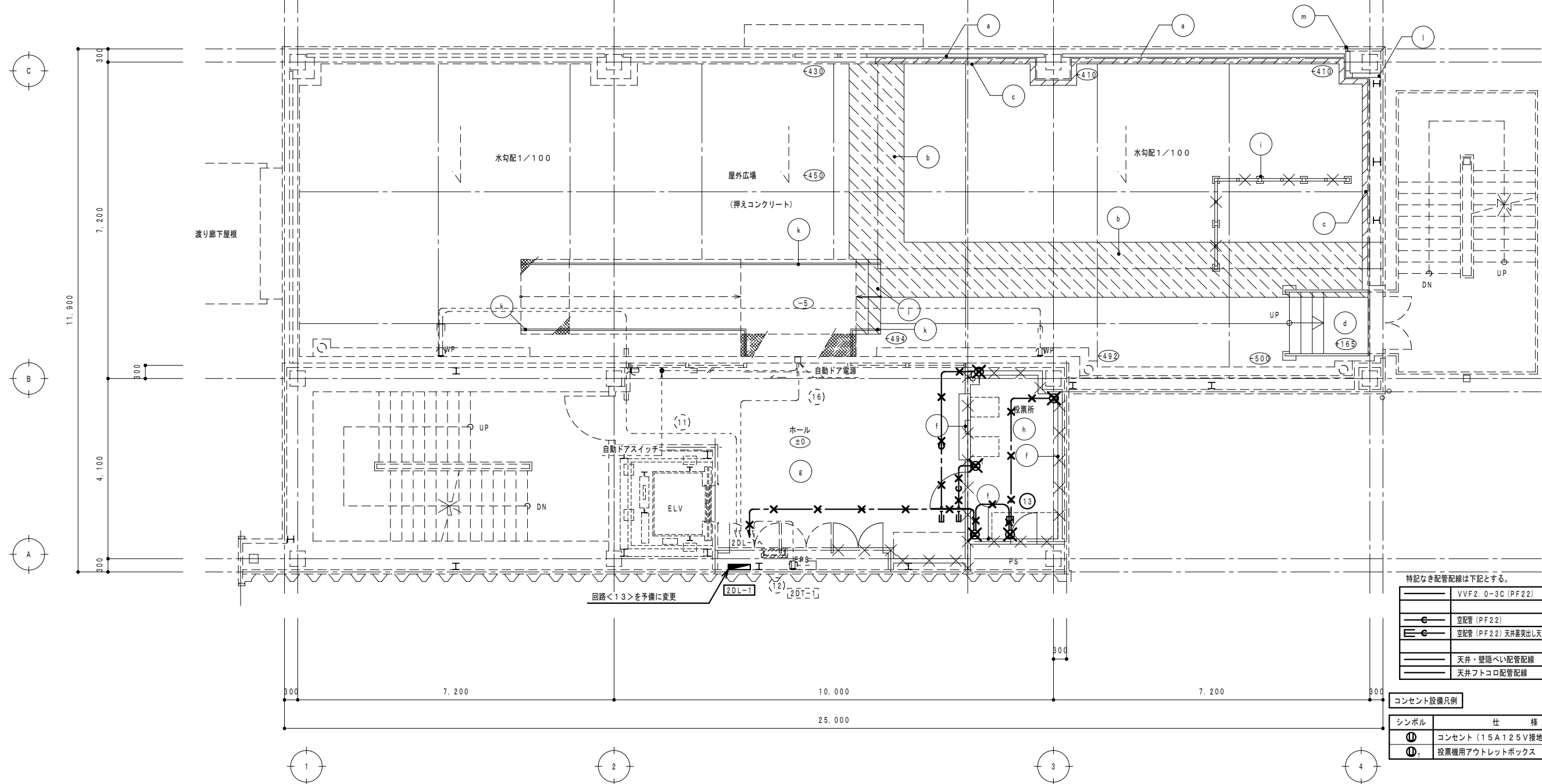
工事名称: ポートレース鳴門 ダイナミックキャビン
2階個室等設置工事のうち電気工事
徳島県建築士事務所協会々員

図名: 改修後 2階電灯設備図
縮尺: 1/100

株式会社 宮建築設計
1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号
徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代)

管理建築士: 1級333707 清水 康代

係: No. E-10



特記なき配管配線は下記とする。

	VVF2.0-3C (PF22)
	空配管 (PF22)
	空配管 (PF22) 天井裏突出し天井透検口まで
	天井・壁隠ぺい配管配線
	天井フトリゴ配管配線

コンセント設備凡例

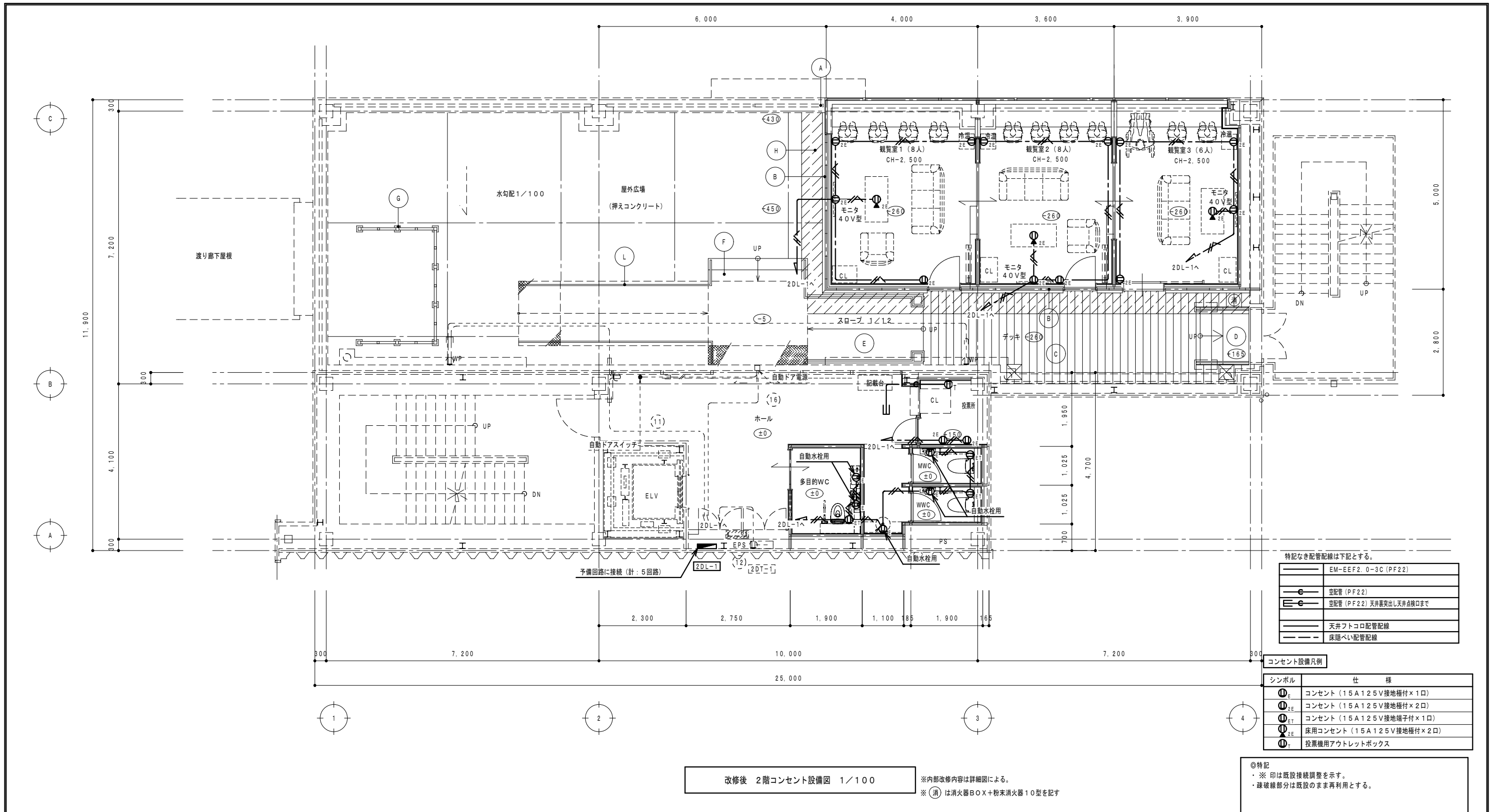
シンボル	仕様
	コンセント (15A 125V接地極付×2口)
	投票機用アウトレットボックス

◎特記
 ・×印は既設撤去を示す。
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。

改修前 2階コンセント設備図 1/100

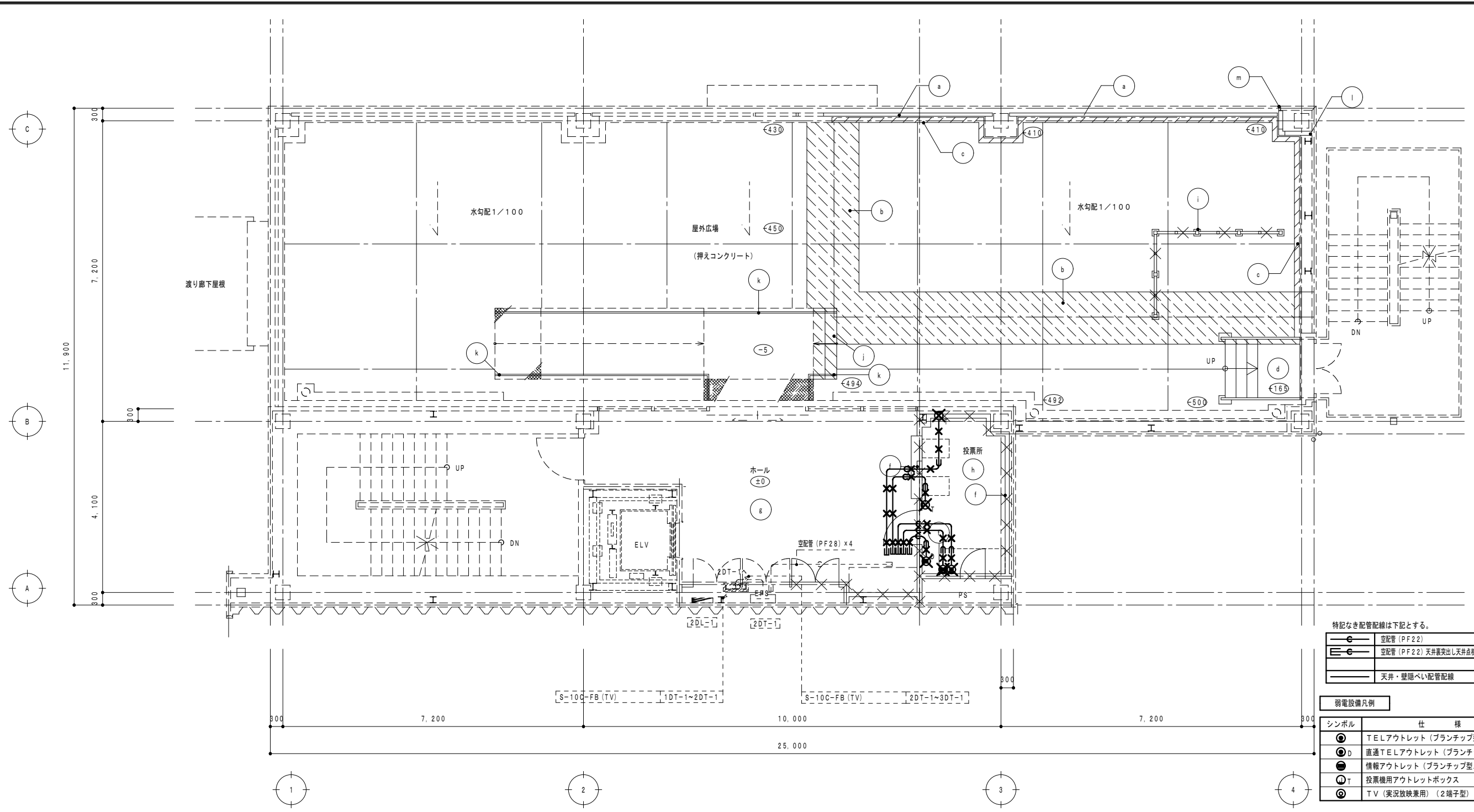
撤去凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(a)	アルミ手摺撤去	(e)	アルミ水切り撤去 (改修前立面図参照)	(i)	アルミスクリーンリ取り外し H=2100	(m)	アルミ見切り撤去
(b)	防水押えコンクリート t=80撤去 ワイヤーメッシュ共	(f)	LGS間仕切り壁撤去	(j)	RC階段撤去		
(c)	立上りコンクリートあご撤去	(g)	KT t2.0撤去	(k)	鉄骨手摺撤去	○	各階基準FLよりの床レベルを示す 特記なきものはFL±0
(d)	鉄骨階段撤去	(h)	帯電防止塩ビタイル撤去 OAフロア共H=150	(l)	押出成形セメント板 t=60の上DP塗撤去	□	撤去建具記号を示す。



改修凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(A)	既存アルミ手摺端部塞ぎ	(E)	鉄骨スロープ新設	(I)	アルミ水切り新設 (改修後北立面図参照)		
(B)	押出成形セメント板 t60の上DP塗 外壁断熱: 吹付硬質ウレタンフォーム t20	(F)	鉄骨階段新設 (中央)	(J)	サイン新設 (配置については、平面詳細図参照)		
(C)	人工木デッキ新設	(G)	アルミスクリーンリ再取付+新設 H=2100	(L)	ステンレス手摺新設		
(D)	鉄骨階段新設 (東側)	(H)	アスファルト防水新設 (立上り共) 押エコンクリート t=80ワイヤーメッシュ新設			(○)	新設建具記号を示す。



特記なき配管配線は下記とする。

—○—	空配管 (PF 22)
—●—	空配管 (PF 22) 天井裏出し天井点検口まで
—	天井・壁隠ぺい配管配線

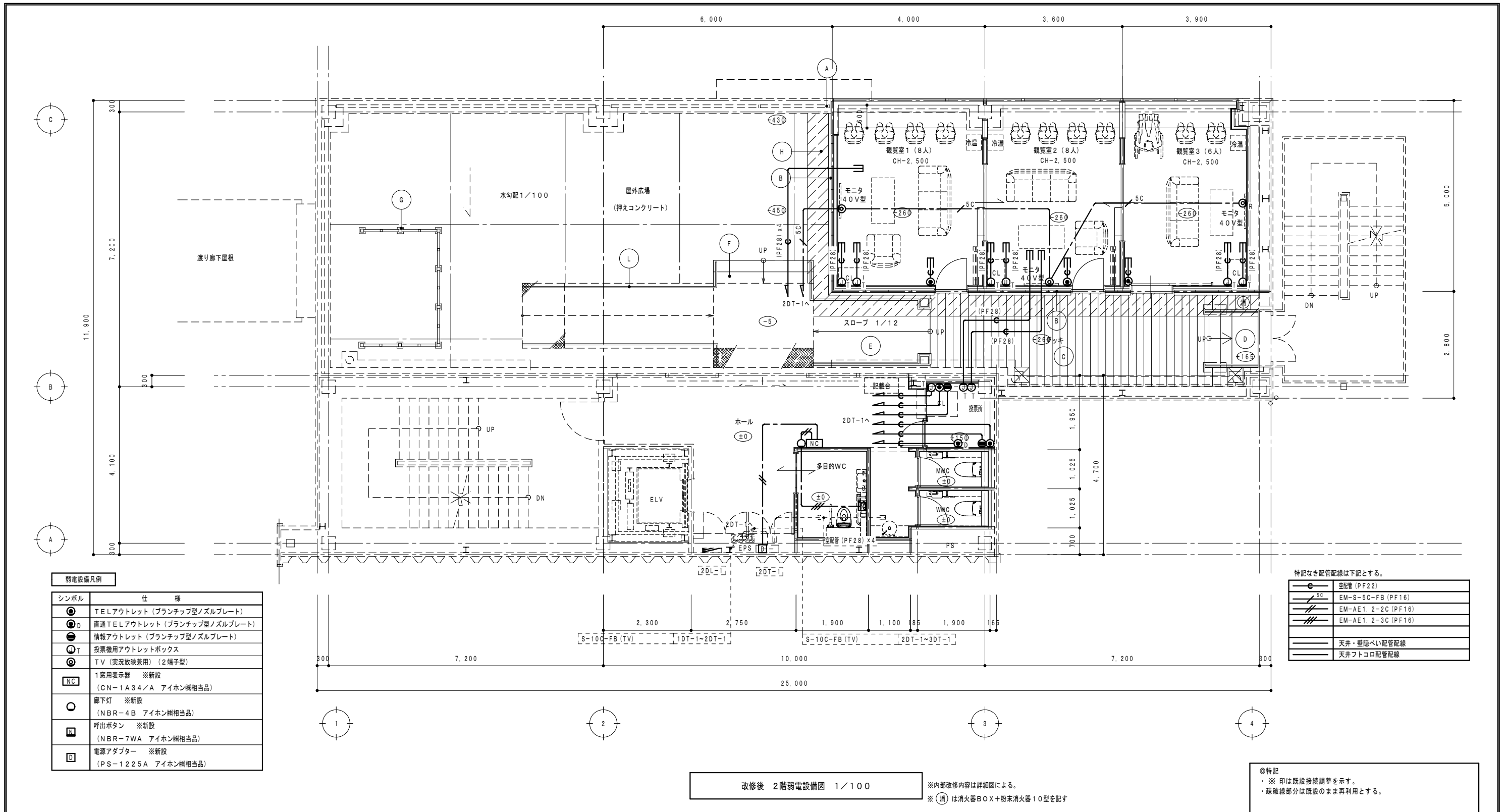
シンボル	仕様
⊙	T E Lアウトレット (プランチップ型ノズルプレート)
⊕	直通T E Lアウトレット (プランチップ型ノズルプレート)
⊖	情報アウトレット (プランチップ型ノズルプレート)
⊙T	投票機用アウトレットボックス
⊙	T V (実況映兼用) (2端子型)

改修前 2階弱電設備図 1/100

◎特記
 ・×印は既設撤去を示す。
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・既設T V機器の移設再取付は別途工事とする。

撤去凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
ⓐ	アルミ手摺撤去	ⓔ	アルミ水切り撤去 (改修前立面図参照)	⓲	アルミスクリーン取り外し H=2100	Ⓜ	アルミ見切り撤去
ⓑ	防水押えコンクリート t=80撤去 ワイヤーメッシュ共	ⓕ	L G S間仕切り壁撤去	⓳	R C階段撤去		
ⓒ	立上りコンクリートあご撤去	ⓖ	K T t 2.0撤去	⓴	鉄骨手摺撤去	○	各階基準F Lよりの床レベルを示す 特記なきものはF L ± 0
ⓓ	鉄骨階段撤去	ⓗ	帯電防止塩ビタイル撤去 O Aフロア共H=150	⓵	押出成形セメント板 t=60の上D P塗撤去	□	撤去建具記号を示す。



シンボル	仕様
⊙	TELアウトレット (プランチップ型ノズルプレート)
⊙D	直通TELアウトレット (プランチップ型ノズルプレート)
⊙	情報アウトレット (プランチップ型ノズルプレート)
⊙T	投票機用アウトレットボックス
⊙	TV (実況放映兼用) (2端子型)
NC	1 窓用表示器 ※新設 (CN-1A34/A アイホン機相当品)
○	廊下灯 ※新設 (NBR-4B アイホン機相当品)
■	呼出ボタン ※新設 (NBR-7WA アイホン機相当品)
□	電源アダプター ※新設 (PS-1225A アイホン機相当品)

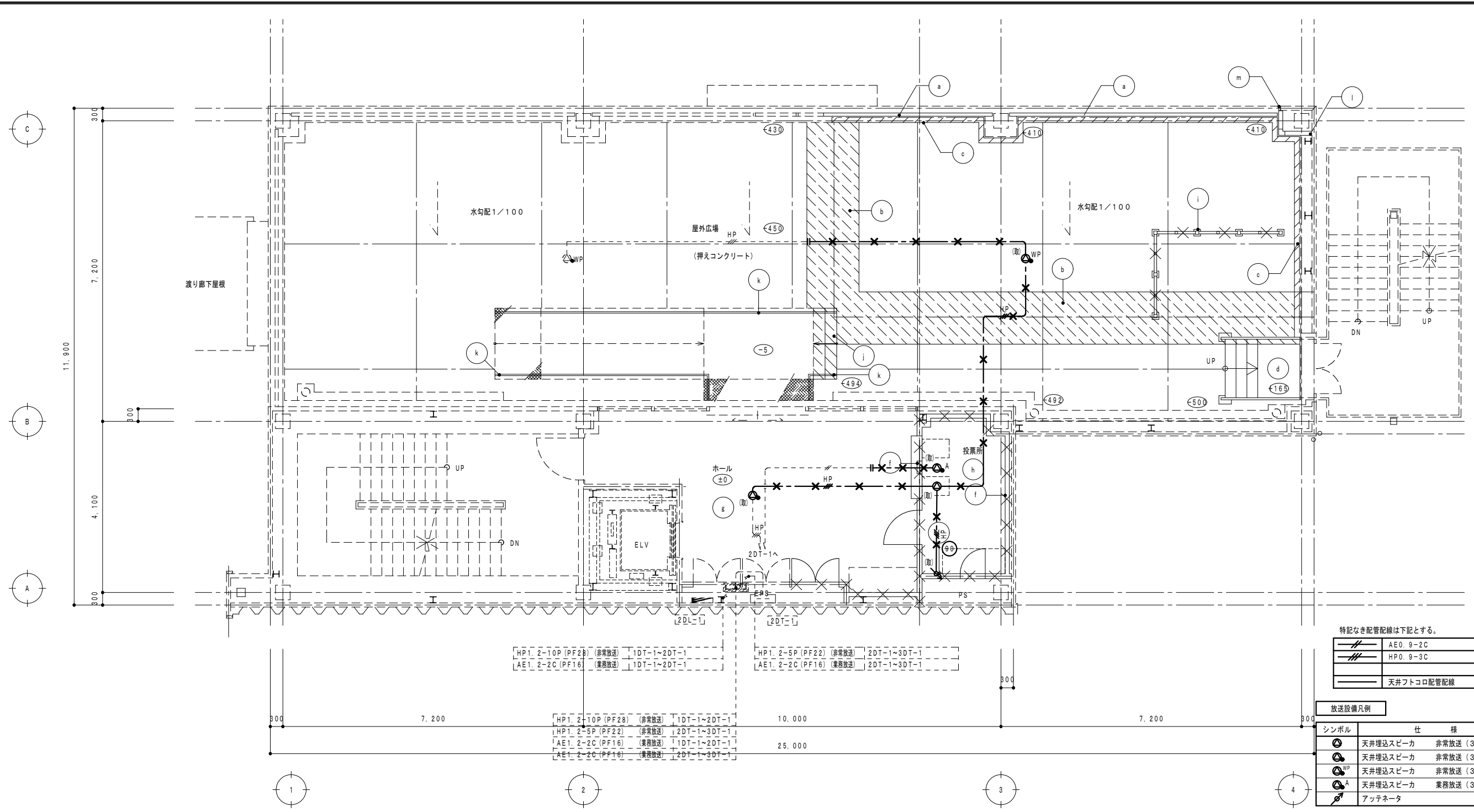
—	空配管 (PF22)
—	EM-S-5C-FB (PF16)
—	EM-AE1.2-2C (PF16)
—	EM-AE1.2-3C (PF16)
—	天井・壁内配管配線
—	天井フトロ配管配線

改修後 2階弱電設備図 1/100 ※内部改修内容は詳細図による。
※ (消) は消火器BOX+粉末消火器10型を記す

◎特記
※印は既設接続調整を示す。
・疎雑線部分は既設のまま再利用とする。

改修凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(A)	既存アルミ手摺端部塞ぎ	(E)	鉄骨スロープ新設	(I)	アルミ水切り新設 (改修後北立面図参照)		
(B)	押出成形セメント板 t60の上DP塗 外壁断熱: 吹付硬質ウレタンフォーム t20	(F)	鉄骨階段新設 (中央)	(J)	サイン新設 (配置については、平面詳細図参照)		
(C)	人工木デッキ新設	(G)	アルミスクリーンリ再取付+新設 H=2100	(L)	ステンレス手摺新設		
(D)	鉄骨階段新設 (東側)	(H)	アスファルト防水新設 (立上り共) 押エコンクリート t=80ワイヤーメッシュ新設			(○)	新設建具記号を示す。



改修前 2階放送設備図 1/100

特記なき配管配線は下記とする。

	AE0.9-2C
	HP0.9-3C
	天井フトロ配管配線

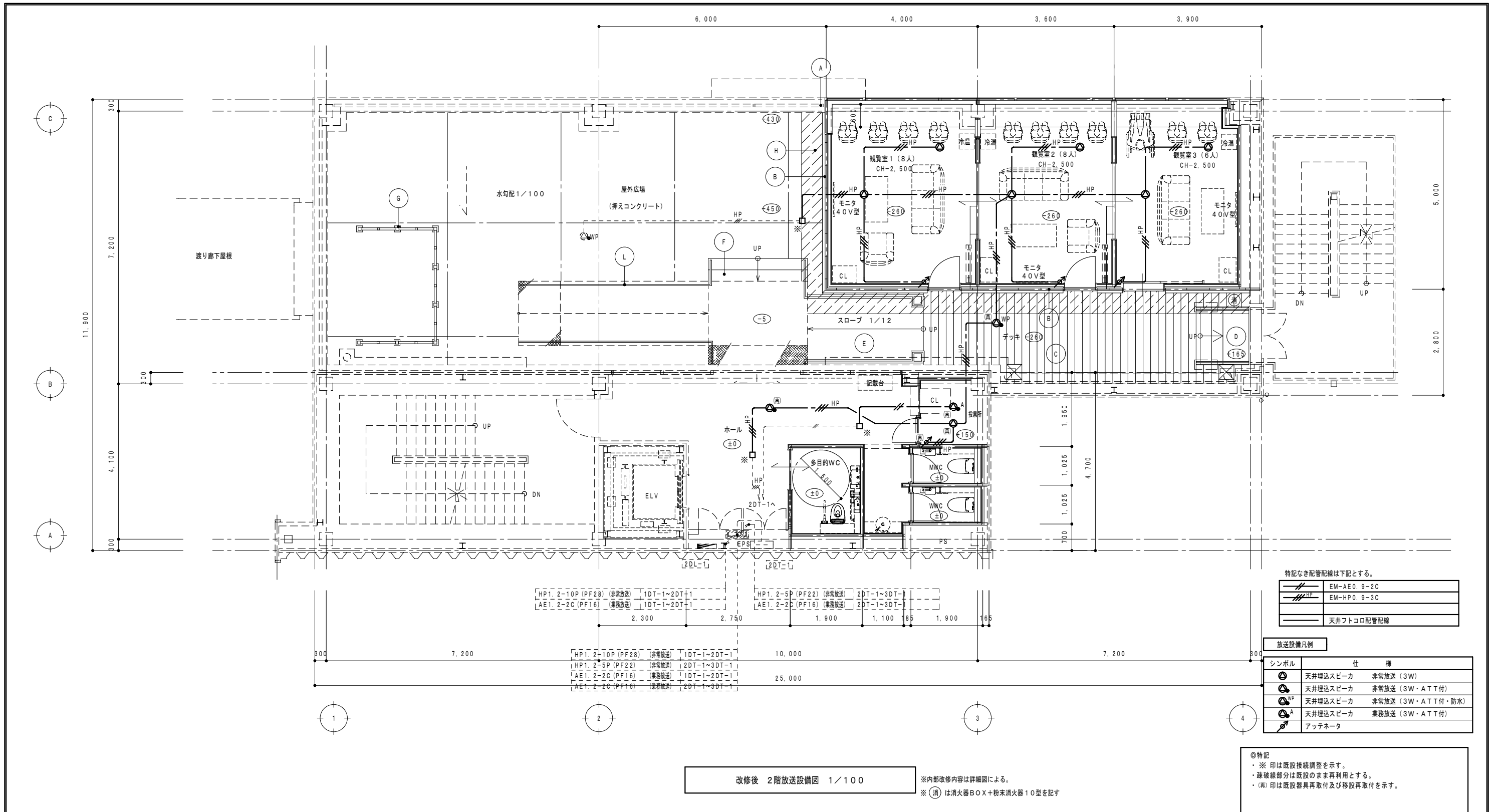
放送設備凡例

シンボル	仕様
	天井埋込スピーカ 非常放送 (3W)
	天井埋込スピーカ 非常放送 (3W・ATT付)
	天井埋込スピーカ 非常放送 (3W・ATT付・防水)
	天井埋込スピーカ 業務放送 (3W・ATT付)
	アッテネータ

◎特記
 ・×印は既設撤去を示す。
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・(取)印は既設取外し後再利用を示す。

撤去凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(a)	アルミ手摺撤去	(e)	アルミ水切り撤去 (改修前立面図参照)	(i)	アルミスクリーンリ取り外し H=2100	(m)	アルミ見切り撤去
(b)	防水押えコンクリート t=80撤去 ワイヤーメッシュ共	(f)	LGS間仕切り壁撤去	(j)	RC階段撤去		
(c)	立上りコンクリートあご撤去	(g)	KT t2.0撤去	(k)	鉄骨手摺撤去	○	各階基準FLよりの床レベルを示す 特記なきものはFL±0
(d)	鉄骨階段撤去	(h)	帯電防止塩ビタイル撤去 OAフロア共H=150	(l)	押出成形セメント板 t=60の上DP塗撤去	□	撤去建具記号を示す。

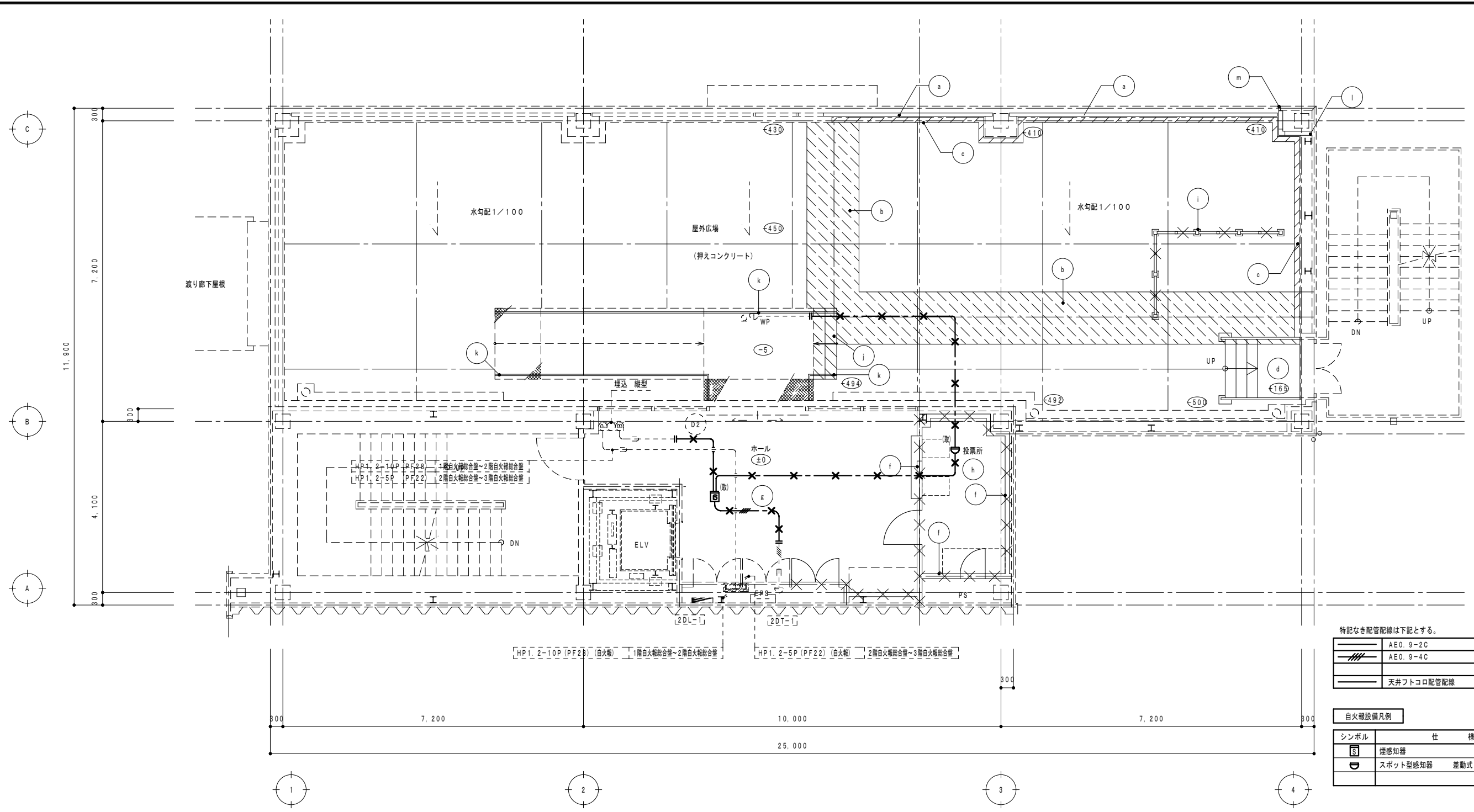


改修後 2階放送設備図 1/100

※内部改修内容は詳細図による。
 ※(消)は消火器BOX+粉末消火器10型を記す

改修凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(A)	既存アルミ手摺端部塞ぎ	(E)	鉄骨スロープ新設	(I)	アルミ水切り新設 (改修後北立面図参照)		
(B)	押出成形セメント板 t60の上DP塗 外壁断熱: 吹付硬質ウレタンフォーム t20	(F)	鉄骨階段新設 (中央)	(J)	サイン新設 (配置については、平面詳細図参照)		
(C)	人工木デッキ新設	(G)	アルミスクリーンリ再取付+新設 H=2100	(L)	ステンレス手摺新設		
(D)	鉄骨階段新設 (東側)	(H)	アスファルト防水新設 (立上り共) 押エコンクリート t=80ワイヤーメッシュ新設			(○)	新設建具記号を示す。



改修前 2階自動火災報知設備図 1/100

特記なき配管配線は下記とする。

	AE0. 9-2C
	AE0. 9-4C
	天井フトロ口配管配線

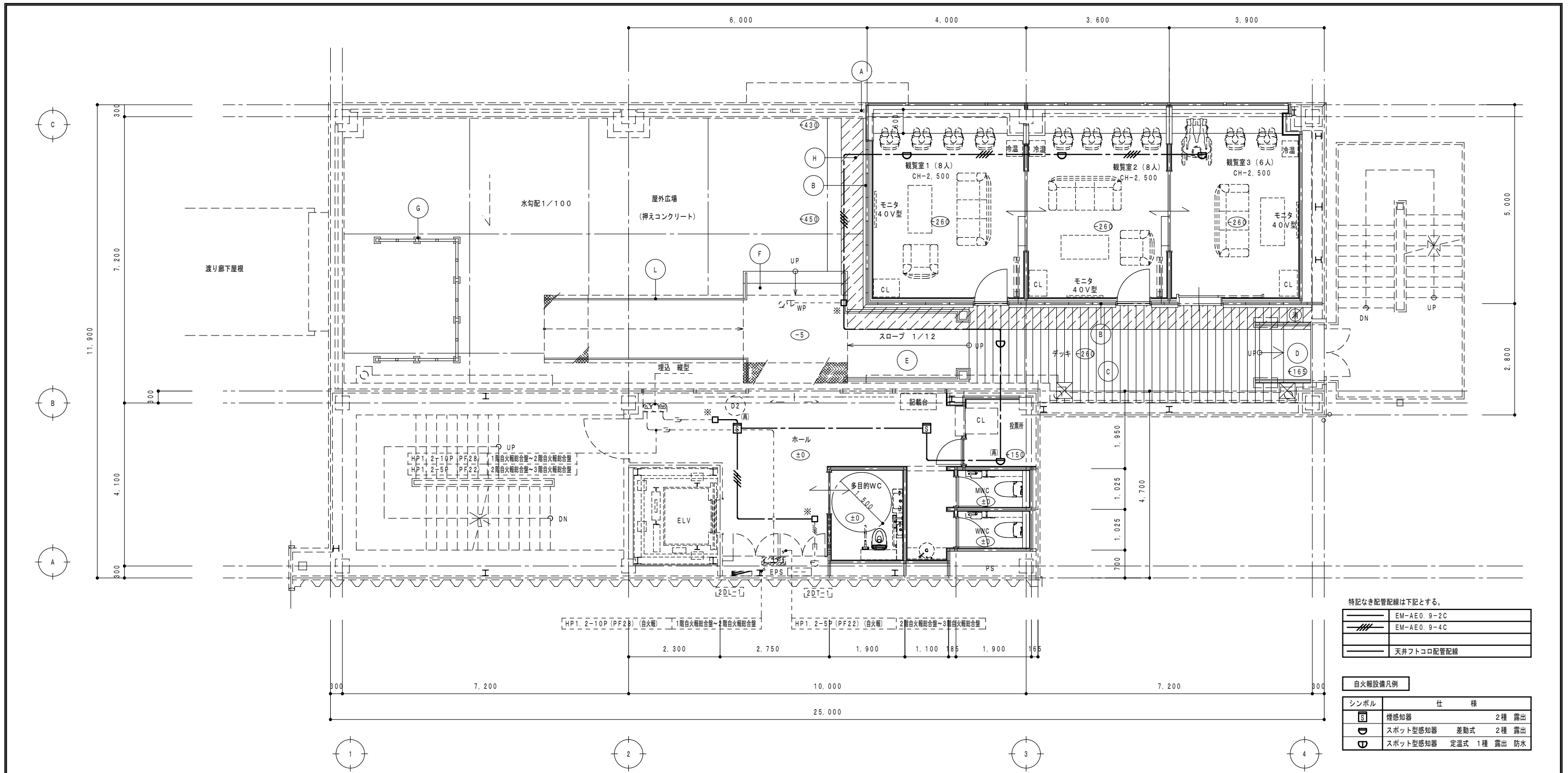
自火報設備凡例

シンボル	仕様
	煙感知器 2種 露出
	スポット型感知器 差動式 2種 露出

◎特記
 ・×印は既設撤去を示す。
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・(取)印は既設取外し後再利用を示す。

撤去凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(a)	アルミ手摺撤去	(e)	アルミ水切り撤去 (改修前立面図参照)	(i)	アルミスクリーンリ取り外し H=2100	(m)	アルミ見切り撤去
(b)	防水押えコンクリート t=80撤去 ワイヤーメッシュ共	(f)	LGS間仕切り壁撤去	(j)	RC階段撤去		
(c)	立上りコンクリートあご撤去	(g)	KT t2.0撤去	(k)	鉄骨手摺撤去	○	各階基準FLよりの床レベルを示す 特記なきものはFL±0
(d)	鉄骨階段撤去	(h)	帯電防止塩ビタイル撤去 OAフロア共H=150	(l)	押出成形セメント板 t=60の上DP塗撤去	□	撤去建具記号を示す。



特記なき配管配線は下記とする。

	EM-AE0.9-2C
	EM-AE0.9-4C
	天井フトロ口配管配線

自火報設備凡例

シンボル	仕 様
	煙感知器 2種 露出
	スポット型感知器 差動式 2種 露出
	スポット型感知器 定温式 1種 露出 防水

◎特記
 ・※印は既設接続調整を示す。
 ・破線部分は既設のまま再利用とする。
 ・(再)印は既設器具再取付及び移設再取付を示す。

改修後 2階自動火災報知設備図 1/100 ※内部改修内容は詳細図による。
 ※(消)は消火器BOX+粉末消火器10型を記す

改修凡例 (建築工事)

記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法	記号	種類・寸法
(A)	既存アルミ手摺端部塞ぎ	(E)	鉄骨スロープ新設	(I)	アルミ水切り新設 (改修後北立面図参照)		
(B)	押出成形セメント板 t60の上DP塗 外壁断熱:吹付硬質ウレタンフォーム t20	(F)	鉄骨階段新設 (中央)	(J)	サイン新設 (配置については、平面詳細図参照)		
(C)	人工木デッキ新設	(G)	アルミスクリーンリ再取付+新設 H=2100	(L)	ステンレス手摺新設		
(D)	鉄骨階段新設 (東側)	(H)	アスファルト防水新設 (立上り共) 押エコンクリート t=80ワイヤーメッシュ新設			(○)	新設建具記号を示す。